



2025年5月12日

各 位

東京都港区虎ノ門四丁目1番28号
日本通信株式会社
代表取締役社長 福田 尚久
(コード番号: 9424)
問合せ先 執行役員CFO 小平 充
電話 03-5776-1700

（訂正）「個別業績および連結業績の前期実績との差異に関するお知らせ」
の一部訂正について

日本通信株式会社（以下、「当社」という）は、2025年5月8日に開示した標記資料に一部訂正がありましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 訂正箇所

「1. 前期個別実績との差異について（2）差異の理由」（訂正部分は、太字で表記のうえ下線を付しています）

【訂正前】

2025年3月期個別業績は、2020年7月から「日本通信 SIM」ブランドで提供を開始した通話定額または準定額を備えたモバイル通信サービスが引き続き安定的に伸長し、売上高、利益ともに増加しました。

当社は、「日本通信 SIM」ブランドの競争力を維持するため、商品仕様を拡充しており、同ブランドの売上は、当期においても、個人・法人の契約回線数ともに順調に伸長し、大手携帯電話事業者や大手MVNOからのMNP転入も増加しました。また、パートナーブランドでの音声通信サービスの契約回線数も順調に伸長し、モバイル通信サービスは、MVNO事業およびMVNE事業ともに成長することができました。

【訂正後】

2025年3月期個別業績は、2020年7月から「日本通信 SIM」ブランドで提供を開始した通話定額または準定額を備えたモバイル通信サービスが引き続き安定的に伸長し、売上高が増加し、前期実績を上回りました。

当社は、「日本通信 SIM」ブランドの競争力を維持するため、商品仕様を拡充しており、同ブランドの売上は、当期においても、個人・法人の契約回線数ともに順調に伸長し、大手携帯電話事業者や大手 MVNO からの MNP 転入も増加しました。また、パートナーブランドでの音声通信サービスの契約回線数も順調に伸長し、モバイル通信サービスは、MVNO 事業および MVNE 事業ともに成長することができました。

一方、2025 年 3 月期個別業績には認知度向上策として 249 百万円の広告宣伝費等の支出があり、2024 年 3 月期個別業績には訴訟解決にともなう特別利益 363 百万円の計上がありましたので、営業利益、経常利益および当期純利益は前期実績を下回りました。

2. 訂正の理由

2025 年 3 月期（2024 年 4 月 1 日～2025 年 3 月 31 日）の個別業績および連結業績について、売上高は前期実績を上回りましたが、営業利益、経常利益および当期純利益は前期実績を下回りましたので、訂正いたします。

以 上

■日本通信について

日本通信株式会社は、1996 年の創業以来、通信業界に革新をもたらし、MVNO 市場を切り拓いてきたパイオニアです。シンプルで合理的なモバイル通信サービスを中心に事業を展開し、安定した収益モデルを確立しつつ、さらなる成長を目指しています。特許技術を活用した無線専用線「閉域 SIM 間通信」やデジタル認証技術「FPoS」を強みとし、認証技術をコアにモバイル通信サービス及びデジタル認証基盤の提供にも注力しています。国際セキュリティ基準 PCI DSS 認定を取得したモバイル専用線は警察や銀行などの厳しい分野で採用。FPoS は世界最高水準のセキュリティと利便性を両立しています。「安全・安心にビットを運ぶ」というミッションのもと、国境を越えた安全なモバイル環境の社会インフラ構築を目指し、持続可能な成長と企業価値の向上に取り組んでいます。